

結び

中国は世界の全域、そして様々な分野でプレゼンスを高めている。中国経済が高成長を続ける限り、そのプレゼンスはますます高まり、国際政治、経済への影響力は強固になるだろう。

中国は目下、比較的高い成長を維持できるよう経済政策を調整している。長い間、発展一本槍で進んできたことから、国内ではすでに多くの矛盾が噴出している。貧富の大きな格差、エネルギー不足、環境汚染、政治とビジネスの癒着、暴動の頻発など山積しており、このままでは、経済発展にブレーキがかかる。経済不振に政治の民主化や台湾対策など難しい問題が重なれば、政権の足下も揺るがしかねない。そこで、胡錦涛政権はバランスのある発展や国民の融和を訴え、資源の節約、エネルギー効率の改善、環境保護などに取り組んでいる。「発展によって諸矛盾を解決する」という従来の方針も同時に掲げているため、調整が効果的に進むかどうか懸念もあるが、うまく安定した発展スタイルに軟着陸できれば、中国はさらに長期にわたって発展を続ける土台を固めることになる。

中国にはもう一つの課題がある。国内の調和とともに、国際社会との調和も求められることだ。プレゼンスが拡大中であるだけに、中国が今後、より開放的になり、脅威論の底にある国内政治や軍事力の不透明性を解消していかないと、地域や国際社会の不安をかきたてることになる。その方向が見えるまでは、米国は基本的に中国を「分岐点にある国」とみなし、安定した協力関係を探りつつも、警戒は怠らないだろう。他の国々も中国の活力を生かす方法を考えつつ、警戒感を解くことはないと思われる。また、核兵器の拡散問題における北朝鮮、イランへの対応や、強権体制の国々との関係など、国際社会の様々な問題でも注目を浴び続けるだろう。

中国がさらにプレゼンスを拡大し続けるのか、それが国際社会にどんな影響を与えるのか。それを的確に予測するには、広範に現状を把握したうえで、中国の国内情勢と国際社会の動きをともに詳細に追っていく必要がある。この報告書が現状の把握に少しでも貢献できることを願いつつ、より正確な理解のために、各方面からの指摘を歓迎したい。